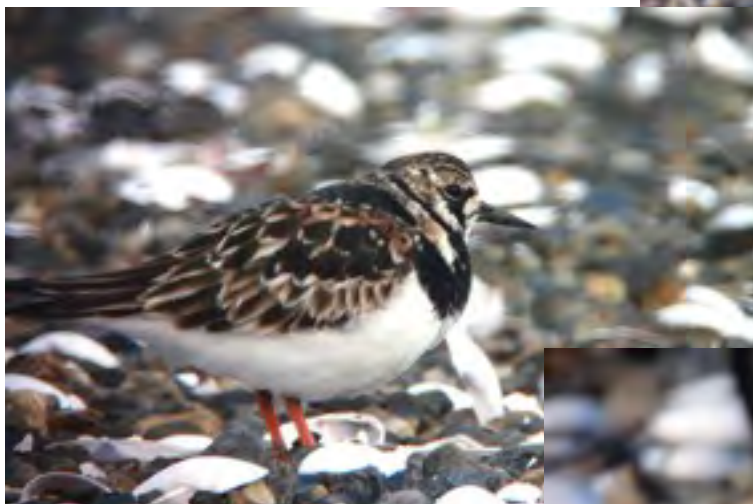


とあじ冊子

森ヶ崎の営巣地を利用する渡り鳥たち

メダイチドリ▶



▲キョウジョシギ

ハマシギ▶



CONTENTS

[報告]

2011年度の営巣地整備に関して

2011年のコアジサシの営巣状況 産卵すれども、孵化・巣立ちは皆無。～残念!

[LTP近況-環境学習部会から-]

定期総会を開催

エコフェスタワンダーランドin矢口西小学校に参加

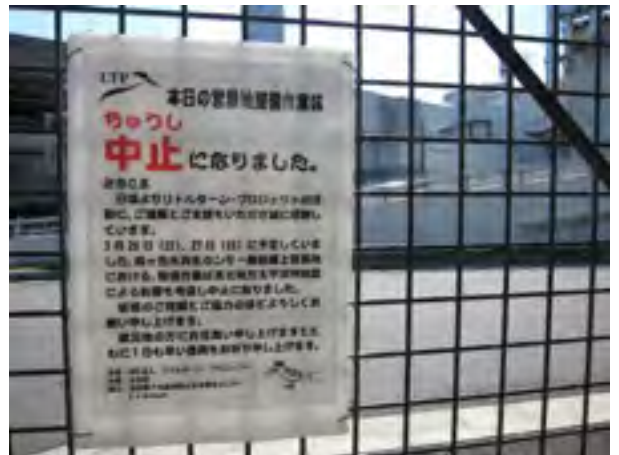
ジャパンバードフェスティバル2011に出展 など



2011年度の営巣地整備に関して



毎年3月末の恒例行事と化してきた屋上営巣地の整備作業は、今年も3月26・27日の2日間で予定していたのですが、今年は東日本大震災の直後の混乱の中とあって、様々な観点から中止という決断にいたりました。当初予定していた作業は、裸地を好むコアジサシのための草むしり、カラス対策として営巣地の周囲に水系を張るといったおなじみの作業や、ここ数年成果を挙げている、貝殻散布によって営巣地をコアジサシの好む白い地面にする作業などでした。3月には作業を行えませんでした。最低限の整備作業は必要だと考え、4月29日にスタッフを中心に、営巣地で作業を行いました。人数が少なかったために、草むしりはできませんでしたが、排水口回り・通路の清掃や、カラス除け水系張り、デコイと音声用のスピーカーの設置を行いました。デコイの設置には、



デコイ作りを指導してくださっている内山春雄先生や、実際にデコイ作り・修復に関わっている方たちも営巣地に来ていただいて、手伝っていただきました。また、今年度から新たなカラス対策にも着手しています。カラスの警戒音声を流す市販のカラス撃退装置を設置したり、コアジサシの巣をカラスから直接守る、籠状のシェルターの設置などを行っています。

さて、整備作業の結果ですが、今シーズンを通してコアジサシの営巣はあったものの、カラスに卵が捕食されてしまい、巣立ちはありませんでした。一方で、コチドリ・シロチドリの巣成ちは認められています。営巣地としてコアジサシが来てくれてはいるものの、繁殖を助けるためには今後も積極的なカラス対策が必要と考えられます。



シェルター「まもる君」

カラス撃退装置はコアジサシの営巣には影響がなさそうでしたが、カラスの忌避効果に関しては成果があったかは不明です。すでに営巣を始めてしまったカラスにこのような装置が効くことはあまりなく、カラスの営巣前から撃退装置を稼働させる必要があるようです。今年は導入が遅かったことが原因と考えられるので、来年は早い段階から使用していきたいと考えています。コアジサシの巣に設置するシェルターは、形状を工夫すればカラスから身を守れる可能性が出てきました。来年度も引き続き効果を検証していく予定です。

また、カラスが営巣地周辺のビルの屋上から営巣地に侵入してきている姿が確認されているため、現在営巣地周辺のビルにもカラス除けを設置できないか検討をしている段階です。

今シーズンは草むしりや貝殻散布を行うことができませんでした。それでも雑草の多く生える下段（運河側）にコアジサシの営巣が確認でき、十分な面積が残っていると考えられました。雛たちが隠れ場に使うこともあるので、バランスを見ながら雑草の管理を行う必要があります。また、白い地面にするための貝殻散布も、次の整備作業で行う予定です。新たな問題としては、長年の使用によってデコイが古くなり傷みが目立つようになってきたことです。今後はデコイ作りのイベントの開催を目指すなどして、新しいデコイを営巣地に増やしていければと考えています。

リトルターン・プロジェクトは10周年を迎えますが、コアジサシが安心して暮らせるためのお手伝いはまだまだ続きそうです。次の春には整備作業を行いたいと思いますので、みなさまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。(M.K.)

< 2011年のコアジサシの営巣状況 >

産卵すれども、孵化・巣立ちは皆無。～残念！



森ヶ崎営巣地でコアジサシ2羽の渡来が初認されたのは4/29で、ほぼ例年どおりでした。その後しだいに個体数は増え、付近の森ヶ崎の鼻干潟では130羽余りが採餌休息するのも観察されましたが、森ヶ崎営巣地にはなかなか定着せず、営巣産卵の開始は大幅に遅れました。

今期初めて1巣(1卵)が確認されたのは6/3で、続いて4巣(4卵)の営巣がみられました。通常より1ヶ月遅れでした。しかし、これらわずかの巣は尽くカラスに捕食されてしまい、再び閑散とした状況になりました。営巣する親鳥がごく少数であったため、カラスの襲撃に対抗できなかったのです。

屋上営巣地観察会が行われた6/26に3巣(4卵)を確認、さらに営巣状況調査の7/3には43巣を確認(2分の1区画調査の結果なので、2



「デコイ村で求愛行動するペア(中央2羽)」
2011.7.1 © LTP:こあじ写師

倍して推定86巣?)、営巣地は久しぶりに活気が蘇ってきました。この日には襲来した猛禽ハヤブサを100羽以上の親鳥たちが協力して追い払う行動も観察されました。

でも、営巣地復活の兆しもここまででした。カラスの執拗な襲撃が続き、このわずか6日後の7/9の調査では6巣に激減していました。7/16には2巣、7/21に1巣、7/23に成鳥2羽が上空を飛んだのが今期の終認となりました。

大人数で行う営巣状況調査は5/22から8/6まで毎週1回ずつ計12回を予定していました。しかし、営巣の兆候がほとんどなかったり、天候不良だったりで、実施したのは7/3と7/9の2回だけとなりました。調査に参加申し込みしていたのに中止となり、がっかりした方もいらしたと思います。その他の営巣記録はごく少人数のスタッフなどの観察によるものです。

今期の森ヶ崎営巣地全体として、コアジサシは95巣ほどが営巣したものと推定されます。普

通だと1巣に1~3卵なので、間を取って2卵とすると、190卵近くが産卵されたこととなります。しかし、そのほとんどがカラスに盗られたりして、孵化したヒナの姿は全く確認されませんでした。もちろん飛べるまで育った幼鳥も皆無でした。このところ大きな課題となっているカラス捕食対策として、カラスの鳴き声による撃退機や、カラスから巣卵を守る格子などを試験的に使ったにもかかわらず、今年は成果を得られなかったのは本当に残念です。来年こそぜひともコアジサシの繁殖を成功させたいものですね。(Y.O)



「営巣一等地は貝殻散布区画」 2011.7.3

© LTP:こあじ写師

<LTP近況-境学習部会から->

- ・2010年度定期総会が開催されました。
2011年2月28日(火)に区民活動支援施設蒲田において、2010年度定期総会が開催され、付議された各議題について、承認されました。
紙面の都合により詳しい内容を掲載できませんが、議事録をご覧になりたい方は、ご連絡ください。
- ・エコフェスタワンダーランドin矢口西小学校に出展しました。
2011年2月20日(日)に大田区の矢口西小学校で開催された「エコフェスタワンダーランドin矢口西小学校」に出展しました。
パネル展示、モビール作りなどを行い大変な盛況でした。



- ・環境フォーラム2011に出展しました。
2011年3月5日(土)に大田区民ホールアプリコ地下1階展示場で行われた「環境フォーラム2011 こんなまちに暮らしたい」にパネル展示参加をしました。
- ・一般向け営巣地整備作業は中止となりました。
3月26・27日に予定されていた営巣地整備作業は、東日本大震災の影響により中止となりました。
その代わりに、4月29日にスタッフにより営巣地の整備とデコイの設置などを行いました。

- ・観察会を開催しました。
一般向けに6月26日、会員向けに7月2日に観察会を開催しました。
コアジサシが少なかったため、普段は行けない営巣地の中に入っての観察も行いました。
- ・近郊の営巣地に視察に行きました。
近郊の自然営巣地の視察を2011年6月19日と7月10日に行いました。
- ・大森第四小学校の「夏休み子どもクラブ」に参加しました。
連年参加している大田区立大森第四小学校の「夏休み子どもスクール」に今年も参加しました。(2011年8月3日)
コアジサシクイズやコアジサシの雛のぬいぐるみ作りを行いました。
- ・デコイの回収及び清掃作業を行いました。
2011年9月23日にデコイの回収と、観察小屋内の清掃作業を行いました。
台風にも耐えたデコイ達の汚れを洗いシーズンの疲れを落としてあげました。



- ・ジャパンバードフェスティバル2011に出展しました。
2011年10月22・23日に千葉県我孫子市で開催された「ジャパンバードフェスティバル2011」に出展しました。我孫子市からの呼びかけもあり、我孫子中学校の卒業生の方たちから、デコイの寄付がありました。ありがとうございます!!

◆お問合せ先

住所：〒143-0015 東京都大田区大森西5-10-22増田方 リトルターン・プロジェクト

E-mail：info@littlern.net

Tel：090-9379-6392

◇Website-URL <http://www.littlern.net/>

◇発行 特定非営利活動法人 リトルターン・プロジェクト

◇編集 水越正幸

◇写真・イラスト 大塚豊、増田直也ほか

◎無断転載・複写複製を禁じます。

